

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2003-11454(P2003-11454A)

【公開日】平成15年1月15日(2003.1.15)

【出願番号】特願2001-195114(P2001-195114)

【国際特許分類第7版】

B 4 1 J 15/16

B 4 1 J 2/325

B 4 1 J 3/36

B 4 1 J 35/22

【F I】

B 4 1 J 15/16

B 4 1 J 3/36 T

B 4 1 J 35/22

B 4 1 J 3/20 1 1 7 C

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スプールに巻回した印字用のテープを収容する第1又は第2のテープカセットが交換可能に装着されるカセット装着部と、

前記カセット装着部に装着された前記第1及び前記第2のテープカセットから外部にテープを引き出して順送りするテープ送り手段と、

前記カセット装着部に装着された前記第1のテープカセットのテープを逆送りしてスプールに巻き戻すテープ巻戻し手段と、

前記カセット装着部に装着された前記第1のテープカセットのテープが前記テープ巻戻し手段による逆送りを交えて前記テープ送り手段によって複数回順送りされる毎に当該テープの同一領域に異なる色のインクで繰り返し印字を行い、また前記カセット装着部に装着された前記第2のテープカセットのテープが前記テープ送り手段によって順送りされるときに単色のインクで印字を行う印字手段とを備え、

前記テープ巻戻し手段は、前記カセット装着部内への前記第2のテープカセットの装着を干渉する位置に突出して配設された回転駆動されるテープ巻戻し軸を備え、

前記テープ巻戻し軸は、前記第1のテープカセットが前記カセット装着部に装着されるときには、前記第1のテープカセットのスプールに係合する作動位置に位置し、前記第2のテープカセットが前記カセット装着部に装着されるときには、前記第2のテープカセットに押動されて前記第2のテープカセットの装着に干渉しない退避位置に移動するべく構成されることを特徴とする印字装置。

【請求項2】

前記テープ巻戻し軸は、前記テープ巻戻し手段を構成する駆動機構によって前記第1のテープカセットのテープをスプールに巻き戻すべく回転駆動される基軸部と、該基軸部に軸着されて前記カセット装着部内で前記作動位置と前記退避位置との間で起伏可能に設けられ前記第1のテープカセットのスプールに係合可能な係合部と、前記係合部を前記退避

位置から前記作動位置に移動するべく付勢する付勢部材とを備えることを特徴とする請求項1に記載の印字装置。

【請求項3】

前記テープ巻戻し軸は、前記テープ巻戻し手段を構成する駆動機構によって前記第1のテープカセットのテープを巻き戻すべく回転駆動される基軸部と、該基軸部の軸方向に伸縮可能にし、かつ、該基軸部の軸方向の回りに回転不可にして前記カセッタ装着部内で前記作動位置と前記退避位置との間で伸縮可能に設けられ前記第1のテープカセットのスプールに係合可能な係合部と、前記係合部を前記退避位置から前記作動位置に伸長すべく付勢する付勢部材とを備えることを特徴とする請求項1に記載の印字装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、前記のような問題に鑑みなされたもので、テープに単色のインクで印字を行う単色印字用のテープカセットをカセッタ装着部に装着するときに、そのテープカセットとは異なる多色印字用のテープカセットに対応して設けられたテープを巻き戻すためのテープ巻戻し手段によって干渉されることはなく、多色印字用のテープカセットと単色印字用のテープカセットとをカセッタ装着部に交換可能に装着してテープに多色印字と単色印字とを行うことができる印字装置を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明の印字装置は、スプールに巻回した印字用のテープを収容する第1又は第2のテープカセットが交換可能に装着されるカセッタ装着部と、前記カセッタ装着部に装着された前記第1及び前記第2のテープカセットから外部にテープを引き出して順送りするテープ送り手段と、前記カセッタ装着部に装着された前記第1のテープカセットのテープを逆送りしてスプールに巻き戻すテープ巻戻し手段と、前記カセッタ装着部に装着された前記第1のテープカセットのテープが前記テープ巻戻し手段による逆送りを交えて前記テープ送り手段によって複数回順送りされる毎に当該テープの同一領域に異なる色のインクで繰り返し印字を行い、また前記カセッタ装着部に装着された前記第2のテープカセットのテープが前記テープ送り手段によって順送りされるときに単色のインクで印字を行う印字手段とを備え、前記テープ巻戻し手段は、前記カセッタ装着部内への前記第2のテープカセットの装着を干渉する位置に突出して配設された回転駆動されるテープ巻戻し軸を備え、前記テープ巻戻し軸は、前記第1のテープカセットが前記カセッタ装着部に装着されるときには、前記第1のテープカセットのスプールに係合する作動位置に位置し、前記第2のテープカセットが前記カセッタ装着部に装着されるときには、前記第2のテープカセットに押動されて前記第2のテープカセットの装着に干渉しない退避位置に移動するべく構成されることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

**【発明の効果】**

以上のように、本発明に係る印字装置によれば、テープに単色のインクで印字を行う単色印字用のテープカセットをカセット装着部に装着するときに、そのテープカセットとは多色印字用のテープカセットに対応して設けられたテープを巻き戻すための巻戻し手段によって干渉されることなく、多色印字用のテープカセットと単色印字用のテープカセットとをカセット装着部に交換可能に装着してテープに多色印字と単色印字とを行うことができる。